

用語の説明

●民生費

子どもや高齢者、障がい者など福祉の費用

●総務費

行政の運営や戸籍、税金徴収などの費用

●教育費

教育や文化、スポーツなどの費用

●衛生費

健康診断や予防接種、ごみ処理などの費用

●公債費

市の借金の返済などの費用

●土木費

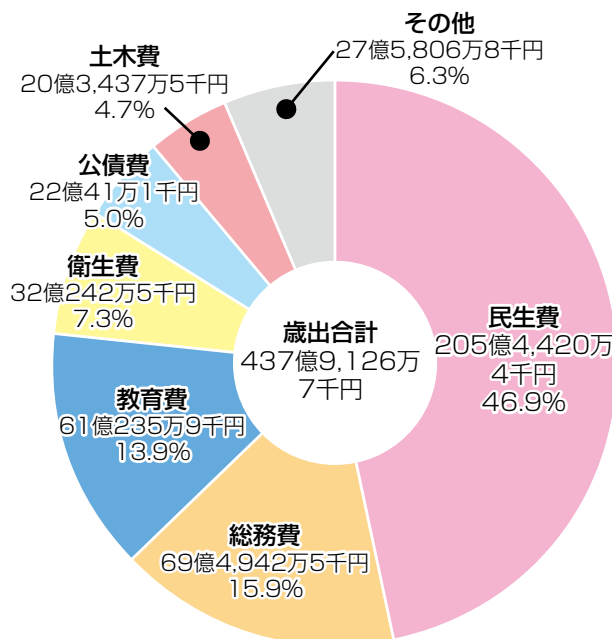
道路や公園などの補修や建設などの費用

●その他

議会や農・商工業、消防、災害復旧などの費用

歳出全体としては、前年度比20億6,356万4千円(4.9%)の増加となりました。

二日市東小学校校舎増築及び長寿命化改良事業等による教育費の増が主な要因です。



基 金

市全体の貯金は7年連続増加

基金は、自治体の貯金のことです。

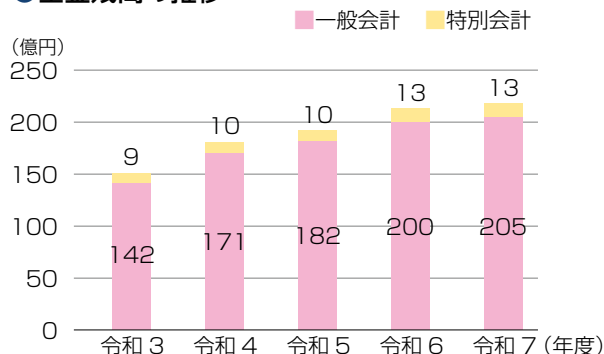
令和7年度は、財政調整基金や創生振興基金、公共施設等整備基金などに積み立てを行ったことにより、基金の残高が約5億円増加しました。

今後も、計画的な積み立て・取り崩しに努めていきます。

●令和7年度末残高

一般会計 205億3,895万4千円
特別会計 12億6,271万4千円

●基金残高の推移



令和7年度決算状況をお知らせします
皆さんに納めていただいた市税などが、どのように使われたか、市の財政がどのような状況であるかについてお知らせします。

問 財政課

一般
会計さい
歳にゅう
入

451億4,694万1千円

用語の説明

自主財源

市が自主的に調達できるお金

- 市税 市民税や固定資産税など
- 繰入金・繰越金 基金からの繰入金や前年度からの繰越金など
- 使用料及び手数料 市営住宅の家賃や公共施設の使用料など
- 諸収入など 発掘調査受託事業収入や広告料など

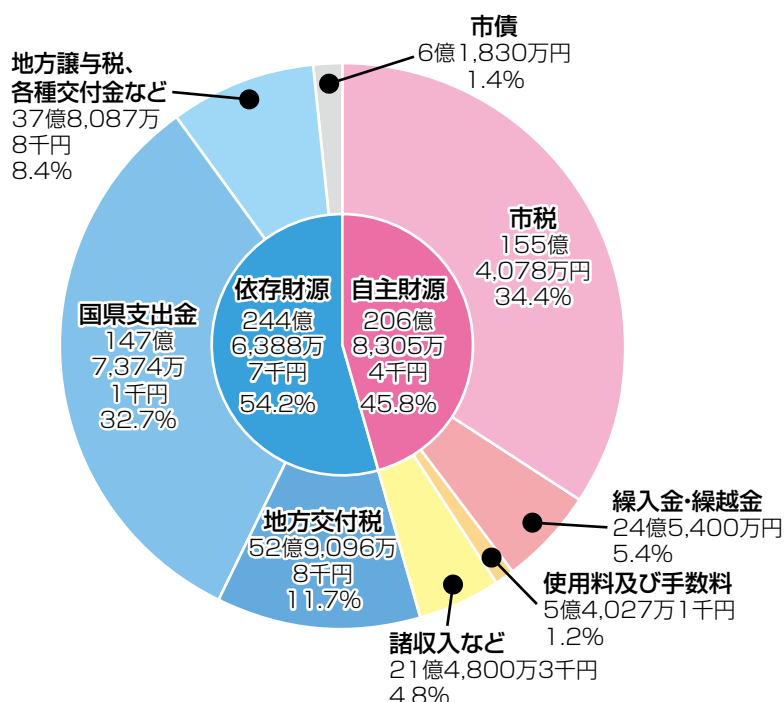
依存財源

国や県からの交付金や銀行からの借入金

- 地方交付税 全国どこでも必要最小限の行政サービスが受けられるよう国が交付するお金
- 国県支出金 特定の事業のために国や県が交付するお金
- 地方譲与税、各種交付金など 国や県が徴収した税金の一部を市に分配するお金
- 市債 大きな事業を行うための銀行などからの借入金

歳入全体としては、前年度比24億39万3千円(5.6%)の増加となりました。

市税や国県支出金、市債等の増加が主な要因です。



地方債

市全体の借金は約21億円減少

地方債は、自治体の借金のことです。

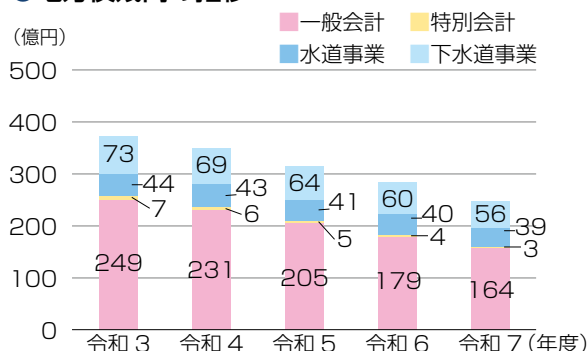
令和7年度は、前年度に引き続き、計画的な借入を行ったことにより、市全体の地方債の残高が約21億円減少しました。

今後も計画的な借入・償還に努めていきます。

●令和7年度末残高

一般会計	164億3,284万8千円
特別会計	3億1,625万2千円
水道事業	39億1,867万2千円
下水道事業	55億8,047万2千円

●地方債残高の推移





指標から見る筑紫野市の状況

健全化判断比率・資金不足比率

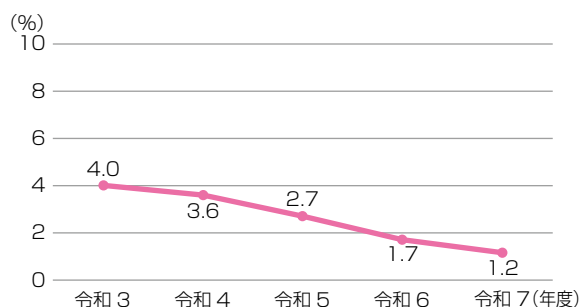
自治体の財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断する指標です。

本市の比率は国の定める基準を大幅に下回っており、前年度に引き続き健全であるという結果となっています。

令和7年度の実質公債費比率は、市債の計画的な償還を行ったことで、前年度より0.5ポイント改善しました。

令和7年度は **1.2%** (前年度1.7%)

実質公債費比率の推移



※実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率、資金不足比率は、いずれも比率が生じておらず、健全な状態です。

財政力指数

地方税など自治体の標準的な収入で合理的に行政運営を行った場合にどこまで必要経費が賄えるかを測定する指標です。この指標は「1」に近く「1」を超えるほど財源に余裕があるとされています。

令和7年度は、前年度より0.004ポイント減少しました。

令和7年度は **0.738** (前年度0.742)

財政力指数の推移



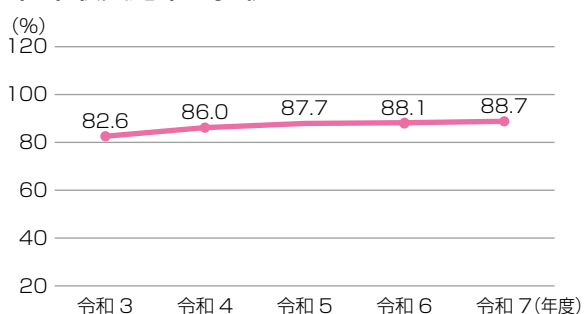
経常収支比率

毎年決まって入ってくるお金(地方税、地方消費税交付金など)が、毎年決まって出ていくお金(人件費、借金の返済など)に、どの程度充てられているかを示す指標です。この比率が低いほど財政構造が弾力性に富んでいるとされています。

令和7年度は、人件費の増などにより前年度より0.6ポイント増加しました。

令和7年度は **88.7%** (前年度88.1%)

経常収支比率の推移





とく べつ かい けい とう えい き ぎょう かい けい けつ さん しゅう し じょうきょう 特別会計・公営企業会計の決算収支の状況

主な特別会計決算収支

国民健康保険などの事業は、保険料など特定の収入によって行うため、一般会計とは別に会計を設けています。

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業	97億6,810万円	97億268万4千円
住宅新築資金等貸付事業	270万5千円	180万円
奨学資金貸与事業	755万6千円	500万5千円
介護保険事業	80億1,179万円	76億6,556万7千円
後期高齢者医療事業	33億6,147万9千円	32億8,565万円
農業集落排水事業	1億6,781万2千円	1億6,781万2千円

公営企業会計決算収支

地方公営企業法の適用を受け、公営企業会計による独立採算制をとっています。

(消費税等込み)

会計名	収入決算額	支出決算額
水道事業	収益的収支 21億2,332万6千円 資本的収支 2億4,395万9千円	19億4,056万円 8億5,496万円
下水道事業	収益的収支 24億847万7千円 資本的収支 4億7,688万5千円	21億1,634万4千円 8億2,171万5千円



かみ はん き ざい せい うん えい じょうきょう し 令和8年度上半期 筑紫野市の財政運営の状況をお知らせします

会計名	予算現額(A)	収入済額(B)	収入率 (B/A×100)	支出済額(C)	執行率 (C/A×100)
一般会計	475億4,478万3千円	199億2,609万8千円	41.9%	158億1,324万円	33.3%
国民健康保険事業	95億3,024万6千円	40億1,478万1千円	42.1%	39億1,060万7千円	41.0%
住宅新築資金等貸付事業	268万4千円	207万5千円	77.3%	0円	0.0%
奨学資金貸与事業	763万8千円	505万6千円	66.2%	521万3千円	68.3%
介護保険事業	82億369万8千円	35億204万3千円	42.7%	32億5,634万8千円	39.7%
後期高齢者医療事業	36億410万7千円	8億1,152万9千円	22.5%	14億9,950万4千円	41.6%
農業集落排水事業	1億6,603万9千円	1,342万8千円	8.1%	5,178万9千円	31.2%
筑紫地区障害支援区分等審査会事業	1,512万円	755万9千円	50.0%	507万4千円	33.6%
二日市財産区	292万1千円	222万1千円	76.0%	9万7千円	3.3%
御笠財産区	2,878万6千円	59万3千円	2.1%	4万3千円	0.1%
平等寺山財産区	3,352万2千円	601万7千円	17.9%	113万3千円	3.4%
合 計	691億3,954万4千円	282億9,140万1千円	40.9%	245億4,304万7千円	35.5%

(※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しないことがあります。)

●市民の税負担状況

令和8年9月30日現在の人口 106,428人

●財産の現在高

- ・土地 333万395㎡(令和8年3月31日現在)
- ・建物 23万2,168㎡(令和8年3月31日現在)
- ・基金 215億8,559万4千円(令和8年9月30日現在)

●市民一人あたりの市税負担額84,845円

(市税収入済額90億2,987万5千円に対する額)

●市債および一時借入金の現在高

- ・一般会計 177億2,886万4千円(令和8年度末見込)
- ・特別会計 2億4,504万5千円(令和8年度末見込)
- ・一時借入金(全会計) 0円(令和8年9月30日現在)

問財政課 財政担当



実施した主な事業

政策 1

人が育まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくり

●生徒指導総合推進事業 (67,166千円)

不登校児童生徒への支援充実のため、登校支援員の増員配置を行いました。また、児童生徒の不登校に関する相談支援や不登校支援策の取り組みを行う「教育支援センター」を開設しました。

●拡大子ども医療費支給事業 (144,051千円)

子育て家庭の経済的負担軽減のため、令和7年10月から新たに中学生の通院費も無料とし、子ども医療費の助成内容を拡充しました。



▲中学生の通院費も無料になりました

政策 2

市民が織りなすスポーツと文化のまちづくり



▲セカンドブックでは絵本のプレゼントと読みきかせを実施

●各種事業・教室開催事業 (3,135千円)

中学校部活動地域展開に向けて指導者の確保が必要となるため、新たに公認スタートコーチ養成講習会受講料の補助を開始しました。

●子どもの読書活動推進事業 (2,087千円)

子どもの豊かな心を育むため、新たに3歳児にむけて読みきかせを行い、絵本を無料で配布するセカンドブック事業を開始しました。

政策 3

自然をまもり未来を育むまちづくり

●省エネエアコン購入助成事業 (12,046千円)

市民の熱中症対策および脱炭素社会の実現を推進するため、省エネ性能を備えたエアコンの購入費用の補助を行いました。

●ごみ減量対策事業 (9,097千円)

ごみ減量とリサイクル促進のため、リサイクルボックスの更新を行いました。



▶各コミュニティセンターや公民館などに設置しています



政策4

強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくり

●地域活性化商品券補助事業 (42,956千円)

筑紫野市の消費拡大、地域経済の活性化に寄与するため、筑紫野市商工会が発行するプレミアム付き商品券のプレミアム分などに対し補助を行いました。

●地域公共交通従事者確保育成支援事業 (2,303千円)

交通事業者の運転手の確保を図るため、市内で乗合バス事業またはタクシー事業を営む交通事業者に対して、地域公共交通従事者確保支援事業助成金を給付しました。



▲スマートフォンアプリのデジタル商品券「つくしちゃんペイ」

政策5

支えあい、暮らしに寄り添う福祉のまちづくり



▲带状疱疹(ほうしん)予防接種費用を一部助成

●重層的支援体制整備事業 (12,804千円)

地域共生社会の実現をめざし、従来の縦割り制度では対応が難しい複雑化・複合化した課題に包括的に対応するための支援体制の整備に向けた移行準備を行いました。

●予防接種事業 (182,222千円)

带状疱疹(ほうしん)の発症・重症化の予防と経済的負担の軽減のため、新たに带状疱疹(ほうしん)予防接種費用の一部助成と定期接種を開始しました。

政策6

安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくり

●総合公園遊具等更新事業 (182,382千円)

筑紫野市総合公園の帆船遊具「天拝の船」のリニューアル工事などを行いました。

●コミュニティバス等運行事業 (121,489千円)

路線バスの廃止・減便による交通空白解消のため、山家地域、筑紫・筑紫南地域において新たにAIデマンドバス「筑紫野のーと」の運行を開始しました。



▲生まれ変わった筑紫野市総合公園の「天拝の船」

政策7

政策実現のための市民目線の行財政運営



▲新しい二日市コミュニティセンター(完成予想)

●自治体DX推進事業 (12,743千円)

市の行政サービスや事務において、デジタル技術を活用し、市民の利便性向上を図るため、新たにAIチャットボット「筑紫野市AIコンシェルジュ」サービスや、LINEによる粗大ごみ収集受付などの運用を開始しました。

●コミュニティセンター建設事業 (22,259千円)

老朽化した二日市コミュニティセンターの新築・移転を行うため、詳細設計を行いました。